

外来腫瘍化学療法について

当院では、外来で抗がん剤治療を受ける患者様が、安心・安全に治療を継続するために、以下の体制を整備しております。

1. 医師、看護師又は薬剤師を院内に常時配置し、患者様からの電話等による緊急の相談に 24 時間対応できる連絡体制を整備しています。
2. 急変時等の緊急時に患者様が入院できる体制を確保しています。
3. 化学療法のレジメン(治療内容)の妥当性を評価し、承認する委員会を定期的に開催しています。当委員会は、化学療法に携わる各診療科の医師、看護師、薬剤師、管理栄養士等で構成されています。

後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用について

当院では、厚生労働省からジェネリック医薬品の使用推進に基づき、医療費削減と患者さんの自己負担軽減を目的に、ジェネリック医薬品の使用割合を増加していくため、ジェネリック医薬品導入に関する説明を積極的に実施しています。

ジェネリック医薬品の使用推進のため、院外処方せんでは、製薬会社の商品名ではなく、医薬品の有効成分を表す一般名処方としている医薬品もあります。

ジェネリック医薬品の供給不足が生じた場合、同種同効薬などへの変更を行うことがあります。変更する場合には安心して使用していただけるよう十分に説明させていただきます。

病院負担軽減のため、患者さんの状態に応じ医師の判断で28 日以上の長期投薬を行うこと、またはリフィル処方せん（一定期間内に反復利用できる処方せん）の交付も可能です。

なお、ご不明な点がございましたら、主治医または薬剤師にお尋ねください。

県立今治病院長

救急外来を受診される皆様へ

**救急当番日においては、救急外来で診療に先立ち
看護師による「トリアージ」を行っています。**

「トリアージ」とは、患者様の緊急度・重症度を判断し、より早期にケアを要する患者様から優先して診療する方法です。

来院された順番に診療する体制とは異なり、緊急度の高い患者様を優先するため、診療の順番が前後することがありますが、円滑な救急外来診療にご理解とご協力をお願いいたします。

一般名処方と長期収載品の選定療養について

【一般名処方】

患者さんが円滑に医薬品を受け取れるよう、お薬を一般名にて処方します。

現在、医療用医薬品の一部品目において、製造・供給の停止や出荷調整が相次いでおります。

院外処方せんで「メーカーの販売名」を指定すると、調剤薬局によっては在庫がない場合がありますので、一部医薬品においては院外処方せんを「メーカーの販売名」ではなく医薬品の有効成分を表す一般名処方としています。

一般名処方を行う場合には、安心して服用いただけるように十分に説明させていただきますので、趣旨をご理解いただきますようお願いいたします。

【長期収載品の選定療養】

患者さんの希望で長期収載品（同じ効果を持つ後発医薬品が発売されている先発医薬品）を選んだ場合に、薬価の差額の一部を患者さんが負担する長期収載品の選定療養の制度が2024年10月に導入されました。

ただし、医師が医療上の必要性があると判断した場合や、供給状況により後発医薬品の提供が困難な場合などは、選定療養の対象外となります。ご不明な点をご相談ください。

医科点数表第2章第10部手術の通則の5及び6に掲げる手術

(施設基準による令和7年の手術の件数は次のとおりです。)

・区分1に分類される手術 手術の件数

ア	頭蓋内腫瘍摘出術等	3
イ	黄斑下手術等	0
ウ	鼓室形成手術等	0
エ	肺悪性腫瘍手術等	0
オ	経皮的カテーテル心筋焼灼術	27

・区分2に分類される手術 手術の件数

ア	靱帯断裂形成手術等	18
イ	水頭症手術等	3
ウ	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	0
エ	尿道形成手術等	0
オ	角膜移植術	0
カ	肝切除術等	7
キ	子宮付属器悪性腫瘍手術等	0

・区分3に分類される手術 手術の件数

ア	上顎骨形成術等	0
イ	上顎骨悪性腫瘍手術等	0
ウ	バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)	0
エ	母指化手術等	0
オ	内反足手術等	0
カ	食道切除再建術等	0
キ	同種死体腎移植術等	0

・区分4に分類される手術の件数 204

・その他の区分に分類される手術 手術の件数

人工関節置換術	149
乳児外科施設基準対象手術	0
ペースメーカー移植術及び ペースメーカー交換術	38
冠動脈、大動脈バイパス移植術(人工心肺を使用しないものを含 む。)及び体外循環を要する手術	0
経皮的冠動脈形成術	118
うち 急性心筋梗塞に対するもの	20
うち 不安定狭心症に対するもの	14
うち その他のもの	59
うち 特殊カテーテルによるもの (高速回転的経皮経管アテレクトミーカテーテルによるもの)	25
経皮的冠動脈粥腫切除術	0
経皮的冠動脈ステント留置術	27
うち 急性心筋梗塞に対するもの	0
うち 不安定狭心症に対するもの	4
うち その他のもの	23

手術の件数は、令和7年1月～令和7年12月の1年間の実績です。

施設基準により届出を行っている令和7年の分娩の件数は次のとおりです。

年間分娩件数	335
常勤の産婦人科医指数	5
常勤の助産師数	15

分娩の件数は、令和7年1月～令和7年12月の1年間の実績です。

電子的診療情報連携体制整備加算について

当院では、医療 DX 推進の体制、明細書発行体制について、下記の整備を行っております。

- ①医師等が診療を行う診察室等において、オンライン資格確認等システムにより取得した診療情報等を活用して診療をしています。
- ②マイナ保険証利用を促進する等、医療DXを通じて質の高い医療を提供できるよう取り組んでいます。
- ③算定した診療報酬の区分・項目の名称及びその点数又は金額を記載した詳細な明細書を患者さんに無料で交付しております。

県立今治病院長

令和8年6月

情報通信機器を用いた診療について

当院では、情報通信機器を用いた診療（オンライン診療）の施設基準の届出を行っております。

情報通信機器を用いた診療の初診において、向精神薬の処方を行っておりませんので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

県立今治病院